

問題解決型プロジェクト グローバル法学際研究部会 主催研究会

「クラスアクション（集団訴訟）と環境問題」

日時：2014 年 1 月 24 日（金）13：00～15：00

場所：早稲田大学早稲田キャンパス 8 号館 3 階会議室

報告 1：「クラスアクションの日本における可能性：Fukushima を題材に」

Robert Klonoff 氏（米国 Lewis & Clark Law School 法科大学院長）

“If Japan had class action: Changing the paradigm in cases like Fukushima”

（通訳：高橋満彦氏）

コメント：大坂恵里氏（東洋大学准教授）

報告 2：「福島原発事故に起因する野生鳥獣管理上の実際問題と法律問題」

高橋満彦氏（富山大学人間発達科学部 准教授）

福島原発事故後の賠償問題については、種々の取り組みがなされていますが、このたび、米国のクラスアクション（集団訴訟）の専門家であるクロノフ教授を迎えて、クラスアクションが日本に導入されたとすれば、福島事故の様な大規模事件はどの様に解決できたであろうかという展望を踏まえて、日本におけるクラスアクションの可能性を論じて見たいと思います。

また、併せて野生動物法の研究者、高橋満彦氏から、野生鳥獣管理に対して原発事故が及ぼしている問題について問題提起をしていただきます。

Robert Klonoff 教授 （Dean & Professor of Lewis & Clark Law School）

専門：クラスアクション、環境法

主要著書：

Klonoff, R., Class Actions and Other Multi-Party Litigation in a Nutshell
(4th Edition), West, 2013.

Klonoff, R., Bilich, E. and Malveaux, S., Class Actions and Other Multiparty
Litigation, Cases and Materials, American Casebook, 2011.

Klonoff, R. & Colby, P., Winning Jury Trial (3rd edition), National
Institute for Trial Advocacy, 2007.

略歴：1955 年米国生まれ

イエール大学ロースクール出身

Jones Day 法律事務所（ワシントン DC）パートナー、ミズリー・カンザスシティ大学
ロースクール教授を経て、2007 年より現職。